

平成22年度 第2回埼玉県立図書館協議会会議録

日 時 平成22年10月27日(水) 午後2時～午後5時

会 場 熊谷図書館 集会室

出席者 (1)出席委員

木下 通子委員 永尾 路子委員 秋本 敏委員  
高野 津代子委員 大井 むつみ委員 鬼頭 宗範委員  
小納谷 雅明委員 田上 智委員

(2)教育局

【生涯学習文化財課】  
吉田副参事

(3)図書館職員

【県立浦和図書館】

小川館長 東城副館長 陣内教育主幹  
千吉良主席司書主幹 荻原司書主幹

【県立熊谷図書館】

岸本館長 橋本副館長 渡辺教育主幹 丸田担当部長

【県立久喜図書館】

樋田館長 豊崎副館長 伊藤教育主幹

会議次第

1 開 会 [熊谷図書館 渡辺教育主幹]

2 あいさつ 熊谷図書館 岸本館長

3 会長あいさつ

4 平成22年度第1回会議録報告

5 会議録署名委員の指名

会長が、木下委員と小納谷委員を指名し、了承された。

6 議 事

(1)「図書館と県民のつどい埼玉2010」について(報告)

[浦和図書館 千吉良主席司書主幹]

資料1に基づき、当時の状況等を報告。参加者は延べ人数で1,751人だった。

【質疑】

委員ノ・落合恵子さんの話には共感する部分があったが、英語の歌に自分の詩をつけたのは聞きづらかった。講師にアンケートの結果をフィードバックした方がよい。

・分科会には、専門家だけでなく、親などの一般人を入れるとよかった。

シンポジウムには、同じ意見の人だけでなく、反対意見の人も加わると、議論が活発になる。

委員 / ・展示に横のつながりができて良かった。

・反省点としては、会場入口の表示がなく、迷った人があった。看板があるとよかった。

・企画委員がもっと機能して動けるようにしたらどうか。

・この「つどい」は県民にアピールする良い機会である。県立図書館も、存在をもっとPRしたほうがいい。本屋がなくなっていくときに、図書館が支えていくべきである。

委員 / ・大学の図書館のお宝は面白いものがあるが、学生は興味を向けていない。何とかならないものだろうか。

委員 / ・最近、大学祭等で公開している場合もある。

委員 / ・高校生が読む本が分かって面白かった。いわゆるライトノベルというもの。

委員長 / ・「つどい」の記録を作る際には、運営に協力されたボランティアを紹介してほしい。

・看板については、使い回しのできるものを作るなど工夫をお願いしたい。ジャンパーを着た者が案内するとか、のぼりを10本掲げるとか、アイデアを出してよりよいものにしてほしい。

委員 / ・落合さんへの質問の時間がなかったが、こうした人と話せるのは貴重な機会だから、質問の時間をとるべきだった。

事務局 / ・講師側のその場での判断で、質問の時間をとらなかった。

委員 / ・昼食場所がすぐ近くにないようだったので、案内があれば良かった。

委員 / ・マスコミへは伝えたのか。

事務局 / ・記者クラブへ提供した。ナック5で放送され、読売新聞の埼玉版にも掲載された。

委員 / ・マスコミの関心をよぶような、新規性を考慮されたい。

委員 / ・来年の会場について、収容人数の大きいところをお願いしたい。

## (2) 障害者サービスの拡充について(報告)

〔久喜図書館 伊藤教育主幹〕

資料2に基づき、サービスの詳細について説明

### 【質疑】

委員 / ・よいことなので大々的にPRしてほしい。とくに特別支援学校にPRしてほしい。

委員 / ・法律が変わって、すぐ対応してもらってありがたい。

## (3) 県内市町村立図書館の状況について(報告)

〔浦和図書館 荻原司書主幹〕

資料3に基づき、埼玉の公立図書館の概要について説明

### 【質疑】

- 委員 / ・ 県立図書館のホームページ（以下、HP。）は、一言で言うとダサい。  
1 顔がない、2 中長期計画がない、3 遊びがない、のが原因である。国会図書館のHPには3つ全部ある。改善していただきたい。県立図書館のHPはプロが入っているのか。
- 事務局 / ・ 職員が記事を作成しているのだから、素人っぽいのはご指摘のとおりである。  
ただ、県立図書館のHPはユニバーサルデザインの観点から、視覚障害者にもサービスが提供できるように読み上げソフトに対応したものとなっている。そういった観点からは高評価を得ている。
- 委員 / ・ 一回プロに見せると良いと思う。館長の顔がないHPは考えられない。
- 委員 / ・ 学校のHPには校長のあいさつがある。館長の顔はあった方が良い。
- 委員 / ・ 見やすくする必要はあると思う。東京や神奈川はすっきりしている。
- 委員長 / ・ HPを作成するには、組織的にはどうなっているか。
- 事務局 / ・ 基本的な枠組みはNECのシステムである。各担当が原稿を作成し、全体の管理は浦和図書館のシステム管理担当が行っている。
- 委員 / ・ 今の話で、館長のあいさつを入れようとか、構成を変えましょうという場合はどうするのか。
- 事務局 / ・ そういう場合は、企画担当の分掌になるかと思う。システムの更新が来年か再来年になると思うので、その際に今の意見を参考にしたい。
- 委員 / ・ 日本人は文化力不足だと思う。ヨーロッパ人との交渉の場合は特に困る。夜話する場合の話題が文化の話が中心だからだ。私の経験から、ヨーロッパ人と交渉するには最低、ギリシャ神話とキリスト教と「車輪の下」を勉強することが必要だ。  
あと、県立図書館の未来像をしっかりと掲げていただきたい。そのための改善点として、1 中長期計画を立てる、2 競争原理の導入、3 執行力をつける、4 アンケート調査を活用する、ことが挙げられる。  
県立図書館の未来像について館長にポンチ絵等を使って県民に分かりやすく説明してほしい。
- 事務局 / ・ HPについては、予算が減額されているので、できるところは職員が工夫して見やすくしていかなければならないと思っている。  
また、県の中長期計画については、オール県庁の計画として「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」があり、教育委員会には「生きる力と絆の埼玉プラン」がある。県立図書館はこうした計画の枠の中で、また、財政的なしばりの中で抱えなくてはならない。一方で、生涯学習文化財課で検討しているライフチャン斯拉イブラリー化の計画もあるので、例えば日本一の蔵書冊数を目標にするとか県立図書館だけで計画する中長期計画の策定は難しい。  
なお、ライフチャン斯拉イブラリー化基本計画の中には電子図書や課題解決型の図書館について入ってくると思うが、今年度中の作成は難しい。
- 委員 / ・ 電子図書館構想はないのか。
- 事務局 / ・ 電子図書館としてやっていくためには資料そのものを電子データとして利用者に供さないといけませんが、著作権や設備の問題があって難しい。
- 委員 / ・ きちっとしたものというのではなく、夢でいいから作るべきだ。
- 委員 / ・ 職員は、お金がなくて、施設が古くて等、マイナス思考になっている。

でも、「県民のつどい」のように、何かをしていこうという力がある。

図書館をもっと県民に訴えていかないといけないと思う。

委員ノ・この協議会においても、図書館のエネルギーが感じられない。われわれに夢を見させてもらいたい。

委員長ノ・図書館協議会は行政から離れたところでものを言える。課題を与えてもらえば、協議会としてアイデアをだしていくことができる。

委員ノ・私が勤務している図書館では、図書館のHP内に図書館公式ブログを立ち上げた。そこに日々の活動やお勧め本などを書き込んで発信している。このことによってアクセス数が高くなった。しかも無料でできた。工夫すれば発信できるものだ。

委員長ノ・HPはいろいろ制約があるが、創意工夫して改善してもらいたい。

利用者に使ってもらわないと意味がない。

ところで、県立図書館の電子化はどうなっているか。

事務局ノ・国会図書館で音頭を取って行っている。各県等では予算の範囲内でできることを行っている。

委員長ノ・見沼とか埼玉らしいものを電子化して、それがアクセスしやすいようなHPになっていれば非常に分かりやすい。

委員ノ・埼玉県立図書館の売りはなにか、ということになると思う。

委員長ノ・利用者等からHPに対する注文はないのか。

事務局ノ・HPそのものに対するものはないが、検索がやりにくいというものはあった。

委員長ノ・さまざまな意見が出たが、これまでのことをまとめると、まず図書館の顔が見えるような方向でHPの改善をお願いしたい。その顔は、個々の問題や政策的な問題、サービスの問題等を伝えるような作りをしていただきたい。

#### (4) その他

ア 国民読書年記念「図書館を活用する県民のつどい」アンケート結果

〔熊谷図書館 橋本副館長〕

資料4に基づき、アンケート結果について説明

イ 政府刊行物の無償提供について

〔浦和図書館 東城副館長〕

資料5に基づき、政府刊行物の無償提供の状況について説明

#### 【質疑】ア、イともになし

ウ 全国図書館大会について

〔熊谷図書館 渡辺教育主幹〕

資料(図書館雑誌コピー)に基づき説明

委員ノ・世界図書館情報会議で決まったことが下に下りていくというか、例えばヨーテボリで決まったことを奈良で受けて、これが国会図書館、各都県へという流れがあるか。

委員長 / ・大会決議はあるが、それには拘束力はなく、それを受けて直接に何か行うと  
いうことではない。

委員 / ・電子化の流れというのは、それぞれの進め方になるのか。

委員長 / ・それは、国際的に検討する場があると思う。

委員 / ・亀山郁夫さんの講演内容はどうだったか。

委員長 / ・ロシア文学者として非常に研究されていると思った。話が分かりやすかった。

工 今後の予定 〔熊谷図書館 渡辺教育主幹〕  
協議会は年3回を予定。第3回は2月に久喜で開催する予定。

議事終了

7 閉会 〔熊谷図書館 渡辺教育主幹〕